



# 村からのお知らせ

宝珠山庁舎 72 - 2311  
小石原庁舎 74 - 2311

## 総務課

### ◆久留米朝倉地区・縣市町村合同公売会

久留米朝倉地区税務推進協議会では、地方税の滞納処分により差し押さえた財産（物件）の公売会を行ないます。

■日時：11月30日（日）

9時30分開場 10時入札開始

（入札は、複数回実施します。）

■場所：福岡県久留米市 北野公民館 大ホール  
久留米市北野町中 273 番地 1

#### ■内容

県税事務所、久留米・朝倉地区の市町村合同による公売会  
（出品物） 美術品・家電品・日用品など  
（公売方法） 入札  
（必要なもの） 購入代金・身分証明書（運転免許証など）・  
印鑑・委任状（代理人の場合）



▲添付している写真は、昨年行われた  
県・市町村合同公売会の様子です。

お問い合わせ先

東峰村役場宝珠山庁舎 総務課 （電話：72 - 2311）まで

## 住民福祉課

### ◆平成 27 年度保育所入所の申請について

平成 27 年度保育所入所の申請を下記のとおり行います。

お子様の入所を希望される方は、下記により申請の手続きを行って下さい。

#### ■入所申請受付期間

平成 26 年 12 月 1 日（月）～ 12 月 19 日（金）まで

#### ■入所保育園

小石原保育園、美星保育所

※入所についてのお問い合わせ並びに入所申請書については  
下記までお問い合わせください。



お問い合わせ先

東峰村役場宝珠山庁舎 総合窓口 （電話：72 - 2311）  
小石原庁舎 住民福祉課 （電話：74 - 2311）まで

## 住民福祉課

### ◆全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間



11月17日（月）から同月23日（日）までの7日間「女性の人権ホットライン」強化週間として、夫・パートナーからの暴力、職場でのセクハラ、ストーカーなど女性に関する人権問題のご相談を受け付けます。

時間は11月17日（月）から同月21日（金）までは、午前8時30分から午後7時まで、11月22日（土）及び同月23日（日）は午後10時から午後5時までです。



電話番号は 0570-070-810（全国共通）

法務局職員と人権擁護委員が無料で相談に応じます。秘密は厳守されますので、どんな些細なことでも、ひとりで悩まずご相談ください。

「女性の人権ホットライン」では、強化週間以外でも女性の人権に関する電話相談を、平日の月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分まで（それ以外は留守番電話対応）受け付けています。

【お問合せ先】福岡法務局人権擁護部（TEL 092-832-4311）

お問い合わせ先

東峰村役場宝珠山庁舎 総合窓口 （電話：72 - 2311）

## 人の動き

東峰村（平成 26 年 10 月末現在）		前月比	あさくら地域（平成 26 年 10 月末現在）		前月比
人口	2,352	▲ 1	人口	88,192	▲ 11
男	1,073	0	男	41,677	▲ 6
女	1,279	▲ 1	女	46,515	▲ 5
世帯数	908	0	世帯数	32,276	43

●税目 国民健康保険税（5期）

●納期限 12月 1日（月）

●口座振替日 11月 25日（火）

●甘木税務署からのお知らせ  
所得税及び復興特別所得税の予定納税（第2期分）  
納期限：12月 1日（月）

東峰村ごみ収集量（平成 26 年 10 月分）（kg）

種 別	当月分	前月分	増 減
可燃ごみ	39,610	40,460	▲ 850
資源ごみ	5,780	4,100	1,680
粗大ごみ	2,500	880	1,620
合 計	47,890	45,440	2,450

◆平成26年度全国学力・学習状況調査及び福岡県学力実態調査の結果・分析のお知らせ

1 実施日

■全国 平成26年4月22日

<対象・教科> 小学6年生 国語 算数  
 中学3年生 国語 数学

■福岡県 平成26年6月24日

<対象・教科> 小学6年生 社会 理科  
 中学3年生 社会 理科 英語



2 結果分析

【小学部】… 全ての科目で、全国も県も上回っている。

全国・県調査の結果（A問題：基礎的な知識 B問題：活用力・応用力）

科目	全国学力・学習状況調査				福岡県学力実態調査	
	国語A	国語B	算数A	算数B	社会	理科
学団正答率	86.7	64.4	86.8	69.7	50.7	68.5
福岡正答率	72.0	54.4	77.7	57.4	43.6	57.8
全国正答率	72.9	55.5	78.1	58.2		

(1) 設問内容から

教科	正答率が高い内容	正答率が低い内容
国語	・漢字の読みや故事成語の理解 ・新聞の表現の仕方 ・本を効果的に読む	・比べて読む ・整理し、関係づけながら、まとめて記述
算数	・かけ算 ・公倍数 ・直方体の体積 ・立体図形の辺や面、位置 ・図形の性質	・少数のひき算 ・混合計算 ・円周の長さ ・必要量の判断とその理由
社会	・ダム、浄水場、下水処理場 ・森林の働き ・警察と消防の仕事	・沖縄県の暮らし ・植林と漁業の関係 ・自動車の海外での現地生産
理科	・モンシロチョウの幼虫のえさ ・星の明るさと色	・検流計をつないだ回路図 ・インゲンマメの種子の発芽

(2) 生活状況調査から

子どもたちの意識や生活状況を調べる質問紙の回答結果は、下記の通りである。

○学力向上に効果があったと思われるもの ●課題と思われるもの

- テレビ、ゲーム、携帯電話やスマートフォンでのメール・インターネットを行う時間が少なく、起床や就寝などの規則正しい生活のリズムが身についている。
- 授業でよいところを認められ、自尊感情や規範意識が高い。
- 家の人は授業参観や学校行事によく参加してくれ、会話もよく行う。
- 地域の行事によく参加し、将来、人の気持ちがわかる、人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 一日当たりの家庭学習時間が全国や県に比べて少なく、予習・復習をあまりしていない。

【中学部】… 数学Aは全国を、理科と英語は県の正答率と同じ又は上回っている。

全国・県調査の結果（A問題：基礎的な知識 B問題：活用力・応用力）

科目	全国学力・学習状況調査				福岡県学力実態調査		
	国語A	国語B	数学A	数学B	社会	理科	英語
学団正答率	74.4	40.4	72.7	55.2	33.8	37.0	44.4
福岡正答率	78.4	49.6	65.6	57.8	35.7	36.1	44.4
全国正答率	79.4	51.0	67.4	59.8			

(1) 設問内容から

教科	正答率が高い内容	正答率が低い内容
国語	・適切な語句や敬語の選択 ・漢字の読み ・資料を通した適切な語句の選択 ・報告の内容の質問から、適切な事柄の選択	・目的に沿って話し合うことや、互いの発言を検討すること ・資料から適切な情報を得ること。伝えたい事実や事柄が明確に伝わるような表現 ・辞書の活用、語句の意味の適切な表現
数学	・線対称な図形の完成 ・直方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く ・反比例の性質を表した記述の選択	・グラフの特徴を事象に即して解釈し結果を改善して問題を解決する方法の説明(関数の活用) ・記号で表された図形の構成要素の読取り
社会	・日本の地域構成と諸地域 ・中世から近世の歴史	・世界の地域構成と生活と環境 ・世界と比べた日本の特色・身近な地域の調査
理科	・物質の状態の変化 ・身近な生物の観察	・電気用図記号を用いた回路図の理解(電流) ・音の性質の理解
英語	・長文を読んで、その内容の理解と英文の作成 ・対話の流れの理解と適切な応答の選択 ・対話文を読んだ適切な選択	・リスニング(キーワードの聞き取り、英語での応答) ・英語長文の理解と、その内容に合う英文の選択

(2) 生活状況調査から

子どもたちの意識や生活状況を調べる質問紙の回答結果は、下記の通りである。

○学力向上に効果があったと思われるもの ●課題と思われるもの

- 「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣が定着している。
- 宿題や与えられた学習及び提出物等、きちんとできている生徒が多い。
- 新聞やインターネット等から、いろいろな情報を取り入れている。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった経験が多い。
- 家庭での自主的な学習を計画的にできていない生徒が3割程度いる。
- 自分の考えや意見を発表したり、書いたりすることが苦手である生徒が7割程度いる。



3 今後の学力向上の取り組み

【小学部】

- 家庭学習のあり方を見直し、時間や内容について、子どもたちが主体的に行うように支援する。(予習・復習等の自主学習のすすめ)
- 家庭や地域と連携して、継続して「早寝・早起き・朝ごはん」「テレビやゲームは、時間を決める」等に取り組み、子どもたちによりよい生活習慣を身に付ける。
- 複数の教師で行う授業や個に応じた支援を工夫し、「わかる・できる」授業づくりに努める。

【中学部】

- 家庭での「自主学習」を定着させるために、予習と復習を中心とした自主的で計画的な学習を家庭と協力しながら推進する。
- 「表現力」を育成するために、意図的に学び合いの場をつくり、自分の考えを言葉や文章で伝え合ったり、練り上げたりする活動を充実させる。
- 毎日の補充学習の内容充実と実施の徹底。テスト問題の確実なやり直し、自分の学力に応じた学習等の徹底を日々の活動を通して計画的に推進する。

【教育委員会】

学力の形成は、学校における教科指導のあり方や家庭の学習習慣などと密接な関係がみられることから、これからは教科指導の充実や学校・家庭との連携を働きかけていきます。また、人事や教育予算、教育条件の整備でしっかりと支援をしていきます。

なお、調査により測定できるのは、学力の一部分であることを考慮し、知徳体の総合的な人間力を身につけた子どもの育成に努めていきます。